

学校図書館が

変	わ	つ	た
---	---	---	---

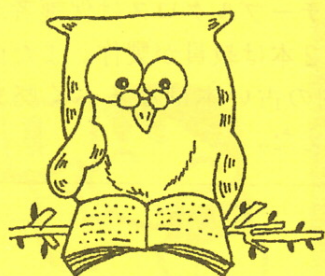
—河内町立田原西小学校の場合—

田原西小学校プロフィール
 児童数 四三二名
 蔵書数 約五八〇〇冊

平成十六年三月末、河内町立田原西小学校で学校図書館の大改造が行われました。

一公立小学校で、どのような経過を経て改造が行われたのか、シリーズその4では、その中心として働いた一人である、PTA会員の尾藤由起枝さんにレポートして頂きました。

施設としての学校図書館が変わるのは、予算が絡むから無理、と諦める前に田原西小の改造をなぞって、あなたにもわたくしにももしかしたら何かができるかもしれない、できる事は何なのか考えて見ませんか？



動機は

図書室の整備が十分なされておらず、分類も配置も子供たちにとってわかりづらい図書室だった。

赤木さんが手がけた福生第二小学校を司書教諭と見学し、学校図書館改造を数多く手がけた赤木さんにぜひアドバイスをお願いしたいと思った。

(赤木かん子氏 日本探偵、児童文学評論家)

事前の働きかけは

① 司書教諭に働きかけ賛同を得た。

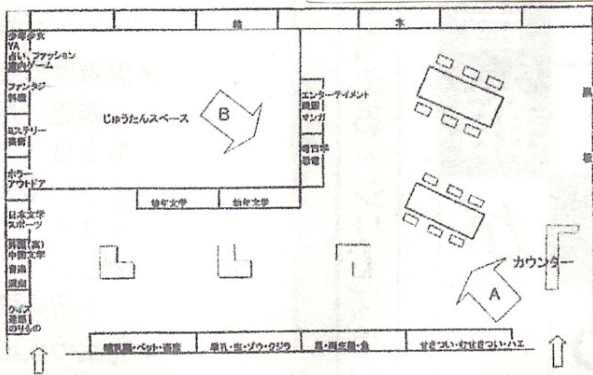
(福生第二小学校を見学)

② 校長、教頭とPTA会長、PTA執行部に働きかけた。

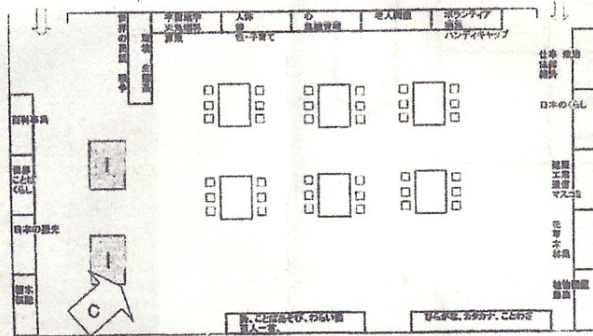
(学校内に賛同者を得ることは不可欠)

(教員と保護者の両方から学校側に働きかけることは大変有効)

第一図書室配置図



第二図書室配置図



スケジュール

平成15年7月 分類講座を開催するために河内町教育委員会の後援を頂き、ちらしをまいた。本校の保護者にも図書館ボランティアとして活動をしてもらうという前提で参加を呼びかけた。

分類講座当日(平成15年11月)に赤木さんに図書室の下見をしていただき見積もりを取り、改装日(平成16年3月28、29日)を決めた。

見積もり金額を学校PTA運営委員会で承認頂き、必要な資材などを購入。カーテンや、テーブルクロスは保護者が製作し、書架2本は教員が製作。また前もって学校内の古い本はなるべく廃棄し、当日を迎えた。

当日の様子(関わった人数)

1日目…ただひたすら大掃除だった。天井ふきから、窓ガラスふき、書架を動かし、たまったほこり・ゴミとり、蛍光灯取替え、壁布はり、書架の配置がえ、本の配置など。

2日目…本の配置、図書室内の掲示。分類シールはり、ブッカーかけなど

人数…のべ 本校関係者 28人
外部ボランティア 28人

予算(決算)

* 予算…30万円

A4サイズの本が入る書架がたくさんあるので10万から可能。後はやり方次第(じゅうたん、カーテンを良い物にするか、安い物にするか、書架を買うか作るか…など)と言うことだったが、学校の10周年記念事業ということで、30万円の予算をPTAからいただいた。

* 決算…30万5千円

じゅうたん(外国製)・カーテン他用布地・面出し書架用木材・分類シール・ブッカー・赤木さん宿泊費・交通費など

* 苦勞など

分類講座に参加者がどれくらいあるか予想できず開催できるか不安だった。

図書館整備の必要性がなかなか理解されず、学校、PTAの賛同を得るのが大変だった。

終わった後の 子供達、PTA、先生の反応

*子供の反応

OPEN前 のぞきに来て「うわ～すげ～！」

OPENして利用者増。じゅうたんコーナー
が特にお気に入りです。昼休みなどは満員。

図書委員になりたがる子が増えジャンケン
で決める場面も。

T：「次の時間は図書室で読書ね。」

S：「うわ～い」

「本借りていい？借りていい？」

*保護者の反応

家庭訪問で「以前は年に2回くらいしか
本を借りてこなかったのに、今年は毎週の
ように借りてきて読んでいますよ～。
今はズッコケ3人組が気に入ってるみたい。」

改装をきっかけに図書館ボランティアが
でき活動開始。

*先生の反応

「すごいですね～」…読書の時間をとる
学級増。

全てが終わった感想

図書室がとても明るく楽しい雰囲気
になった。

分類や配置が子供たちにわかりやす
く自分が探している本も見つけやす
くなった。

登校後や昼休みに図書室で過ごす子
供たちが増えた。

改装して2か月なので図書室を十分
に活用するにはまだまだ課題は残る。

(平成16年5月記)

学校図書館の改装が行われ、子どもたちの評判も上々。しかし、目先の変化
から本に近づいた子どもたちを、このまま定着させるためには専任の司書がいる
ことがどうしても必要です。

このリーフレットは、田原西小学校のご協力を得て作成することができました。
あなたの情報、ご意見、ご感想をお寄せ下さい。

栃木子どもの本連絡会：「学校図書館を考える」プロジェクト（平成16年8月発行）